

倉敷市地域公共交通網形成計画における事業の総括について

施策の進捗状況

令和3年度末時点の状況(見込み)

網

都市の骨格を形成する公共交通

事業内容	実績		
	区分	平成28年度～令和2年度	事業費:千円
A-(1) 利便性の高い運行時間帯、運行回数の確保	継続	・市内に有するすべての路線において利便性の高い運行時間帯、運行回数を確保	
	継続	・利便性の高い運行時間帯、運行回数を確保	
	継続	・倉敷 水島（連島経由）、玉島 水島における利便性の高い運行時間帯、運行回数を確保	
	継続	・倉敷 水島（古城池経由）における運行回数の確保について可能性を検討	
	継続	・倉敷 児島、倉敷 茶屋町における利便性の高い運行時間帯、運行回数を確保 4月改正 天城線 下之町経由を天城線に変更 児島駅～宇野駅行きを新設 10月 由加山線、下津井線、3月 瀬戸大橋線の廃止	
	継続	・バスロケーションシステムを利用した運行実績から遅延情報を蓄積し、より実態に合ったダイヤを作成 →H30.4月の改正で実施（青葉町車庫、小溝車庫、倉敷循環線）（両備ホールディングス）	
	継続	・水島臨海鉄道軌道安全輸送設備整備費等補助（耐震補強工事）	R2年度分をR3年度に繰越
	継続	・鉄道施設緊急耐震対策事業の実施	
	継続	・井原線鉄道基盤設備維持費補助	19,399
A-(2) 利用しやすいダイヤの確保	継続	・乗り換えしやすい接続ダイヤの検討	
H29～R元・事業者間における玉島地区のダイヤを調整（両備ホールディングス・井笠バスカンパニー） →H30.4月の改正で両備・玉島中央町線を減便するも井笠バスとの運行間隔を調整し、一定間隔の運行を維持する。	継続	・パターンダイヤの検討	
	継続	・事業者間における接続ダイヤの検討	
	継続	・事業者間における玉島地区のダイヤを調整（両備ホールディングス・井笠バスカンパニー） →H30.4月の改正で両備・玉島中央町線を減便するも井笠バスとの運行間隔を調整し、一定間隔の運行を維持する。	
B-(1) 広域交通拠点の整備・改善	継続	・乗り換え案内による情報提供	660
H29～30・公共交通乗換情報案内システムを更新（JR倉敷駅自由通路）	継続	・倉敷市駅 JR倉敷駅相互の乗継利便性の向上についての検討	
	継続	・のりば案内看板等の改善を検討	
	継続	・自由通路の美装化（中庄駅自由通路）	462

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

区分	令和3年度	事業費:千円	計 画		達成度	次期計画	実施主体
			R4	実施状況及び見込み			
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、利便性の高い運行時間帯、運行回数を確保した。	達成	高	交 JR西日本(株)
継続	→継続実施		継続実施	減便はあったが、運行回数は確保した。	達成	高	交 水島臨海鉄道(株)
継続	コロナの需要減による影響に基づく計画変更が必要		継続実施	計画どおり実施したが、コロナの影響により、R3年度以降は計画変更が必要	一部未達	変更必要	交 両備HD(株)
継続	コロナの需要減による影響に基づく計画変更が必要		継続実施	計画どおり実施したが、コロナの影響により、R3年度以降は計画変更が必要	一部未達	変更必要	交 両備HD(株)
継続	→継続実施 4月改正 児島循環線の市民病院乗入れ系統を新設(実施済) コロナ影響下の運行系統・時刻の見直し(継続)		継続実施	計画どおり実施し、経費削減の為、減便はしつつも利便性・快適性の維持について一定の効果があったが、R2年度に一部路線の廃止があった。また、R3年度は運行系統・時刻の見直しの継続が必要。R3年度末で黒谷線及び、南塩生経由の一部を廃止する。	一部未達	高	交 下津井電鉄(株)
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、利便性・快適性の向上に努めた。	達成	高	交 両備HD(株) 交 下津井電鉄(株) 交 岡山電気軌道(株)
継続	→継続実施	13,334	継続実施	計画どおり実施し、運行の安全性が確保できた。H30～R4	達成	高	市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、運行の安全性が確保できた。H30～R4	達成	高	交 水島臨海鉄道(株)
継続	→継続実施	35,043	継続実施	計画どおり実施し、井原線の安定した運行を確保した。	達成	高	市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	利便性・快適性の向上のための検討を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	利便性・快適性の向上のための検討を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	利便性・快適性の向上のための検討を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	利便性・快適性の向上のための調整を行った。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施	660	継続実施	計画どおり実施し、交通拠点等の改善に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	検討中であり、引き続き検討する必要がある。	検討中	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、交通拠点等の改善に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課 市 道路管理課
継続	→継続実施	390	継続実施	計画どおり実施し、交通拠点等の改善に努めた。	達成	高	市 道路管理課

事業内容	実 績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
B-(2) 交通拠点の整備・改善	継続	・公共交通乗換情報案内システムの導入を検討	
B-(3) 乗継拠点の整備・改善	継続	・乗り継ぎ先乗り場位置，時刻表の表示	
H29 ・H29.10月ダイヤ改正より乗換停留所を配布用の時刻表に表記（観音堂・霞橋）			
B-(4) 主要な停留所における待合環境の改善	継続	・主要停留所の上屋設置と維持管理	
C-(1) J R 山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業	継続	・事業の再評価に向けて、市として事業主体である県等と協議（鉄道高架推進室）	
C-(2) 鉄道高架化に合わせた利便性の高い駅前広場	継続	→連続立体交差事業の進捗に合わせ検討予定	
D-(1) 公共交通を優先する走行環境を整備	新規	・PTPSの研究	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続 → 検討継続			継続実施	計画どおり実施し、交通拠点等の改善に努めた。	達成	高	 公共交通事業者  交通政策課
継続 → 検討継続			継続実施	乗り継ぎ先乗り場位置、時刻表の表示について実施したが、計画書にある想定事業（ハード）の検討はしていない。	一部未達	高	 公共交通事業者
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、上屋の維持管理を実施した。	達成	高	 公共交通事業者
継続 → 継続実施			継続実施	関係機関と調整中であり、引き続き検討する必要がある。	検討中	高	 岡山県
継続 → 検討継続			継続実施	関係機関と調整中であり、引き続き検討する必要がある。	検討中	高	 鉄道高架推進室
継続 → 研究継続			検討・調整	引き続き検討する必要がある。	検討中	高	 公共交通事業者  交通政策課  警察

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
E-(1) 出前講座やパンフレットなどによる普及促進 H29～R元・出前講座等の開催（H29：4件，H30：2件， R1：1件）	継続	・出前講座等の開催（1件）	
	継続	・パンフレット「導入の手引き」の配布	
E-(2) コミュニティタクシー運行エリアの拡大 H29～R元・試験運行の実施（水島地区・3ルート） から本格運行へ移行	継続	→継続実施 水島地区（広江エリア）の試験運行開始	
E-(3) コミュニティタクシーを導入しやすい制度づくり	継続	・現行制度の検証と具体策の検討	
E-(4) コミュニティタクシーを利用しやすい環境づくり	継続	・具体策の検討	
F-(1) 利便性の高い運行時間帯，運行回数の確保	継続	・日常生活に利用できる最低限の運行時間帯，運行 回数を確保を目指す	
	継続	・バス路線維持等補助金（交通政策課）	54,484
	継続	・コミュニティタクシー運行費補助金（交通政策課）	24,390
	継続	・ダイヤ改善（人員と車両等運用の最適化）	
F-(2) 地域の生活関連施設における利用環境の向上 H29～30・コープ倉敷北店乗入れ（東酒津CT） ・ハーバーアイランド3工区延伸 （両備ホールディングス）	継続	・平成病院乗入れ（東酒津CT）・船穂農協・エブリイ 乗入れ（船穂CT）・倉敷市立病院，鷺羽山第二展 望台乗入れ（下津井電鉄）	
F-(3) タクシーの活用	継続	・生活支援等と関連した利用促進策の検討	
G-(1) 非常時・災害時における利用者への情報提供	継続	・利用者への周知方法，連携体制の調査，検討	
G-(2) 乗務員等の行動マニュアル作成 H29～R元・乗務担当者必携マニュアルの策定 （両備ホールディングス）	継続	・緊急時の体制の整備の検討	
	継続	・乗務担当者必携マニュアルの策定（両備ホールディン グス）	
H-(1) 安定した担い手確保と育成 H29～30・女性ドライバーを採用（H29：3名，H30：3名） （両備ホールディングス）	継続	・運転免許取得の補助制度	
	継続	・会社説明会の定期実施（下津井電鉄）	
	継続	・女性ドライバー採用準備（下津井電鉄） →02年度採用無し	
	継続	・女性ドライバーを2名採用（両備ホールディングス）	
	継続	・県外も含め定期的な採用説明会を実施（両備ホール ディングス）会社説明会の定期実施（岡山電気軌 道）	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続	→継続実施(随時)		継続実施	計画どおり実施し、コミュニティタクシーの普及に努めた。	達成	高	市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、コミュニティタクシーの普及に努めた。	達成	高	市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、コミュニティタクシーの普及に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	検討中であり、引き続き検討する必要がある。	検討中	高	市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、コミュニティタクシーの普及に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、地域地区内交通の活性化に努めた。	達成	変更可能性	交 公共交通事業者
継続	→継続実施	76,800	継続実施	計画どおり実施し、地域地区内交通の活性化に努めた。	達成	高	市 交通政策課
継続	→継続実施	25,337	継続実施	計画どおり実施し、地域地区内交通の活性化に努めた。	達成	高	市 交通政策課
継続	→継続実施			計画どおり実施し、地域地区内交通の活性化に努めた。	達成	高	交 ㈱井笠バスカンパニー
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、地域地区内交通の活性化に努めた。	達成	高	企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、地域地区内交通の活性化に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、非常時・災害時における体制づくりに努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課 他 岡山県・国
継続	→継続実施		継続実施	緊急時の体制について整備した。	達成	完了	交 公共交通事業者
継続	→運用継続		継続実施	計画どおり実施し、非常時・災害時における体制づくりに努めた。	達成	完了	交 両備HD㈱
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、安定した担い手確保と育成に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者
検討	→コロナにより仕事数が減り、新規雇用は一時中断		未定	計画はしていたが、コロナの影響により、R3年度は新規採用を一時中断。定年退職が増え、今後補充は必要。	一部未達	中	交 下津井電鉄
継続	→継続実施		継続実施	コロナ影響により新規雇用を一時中断。	未達成	中	交 下津井電鉄
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、安定した担い手確保と育成に努めた。	達成	高	交 両備HD㈱
継続	→継続実施(ただし、採用抑制期間中は見送り:両備ホールディングス、岡山電気軌道)		継続実施	計画どおり実施し、安定した担い手確保と育成に努めたが、コロナの影響により、R3年度は、採用抑制期間中は説明会見送り	一部未達	高	交 両備HD㈱ 交 岡山電気軌道㈱

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
I-(1) コミュニティタクシーの利用料金の割引 H29～R元・おかやま愛カード掲示による利用料金の割引 (交通政策課)	継続	・高齢者等を対象とした利用料金の割引(交通政策課) ・利用者証の発行(健康長寿課)	
I-(2) 高齢者を対象とした利用料金の割引	継続	・企画乗車券「ことぶきバス」の発行(両備ホールディングス・下津井電鉄・岡山電気軌道) ・企画乗車券「もみじバス」の発行(井原鉄道) ・割引制度の周知(交通政策課)	
I-(3) 障がい者を対象とした利用料金等の助成	継続	・障がい者移動支援事業の実施(福祉タクシーチケット, リフトタクシーチケット, 路線バス利用料, 鉄道運賃の助成)	46,433
I-(4) 福祉有償運送の情報提供	継続	・福祉有償運送事業者に対する支援 ・市民に対する福祉有償運送の情報提供	50
J-(1) バス車両のバリアフリー化 H29～R元・バリアフリー化車両の導入(中古4両, 新車2両導入済)(下津井電鉄) ・バリアフリー化車両の導入(6台) (両備ホールディングス) ・バリアフリー化車両の導入(ノンステップバス9台) (岡山電気軌道)	継続	・バリアフリー化車両の導入(2両導入済)	
	継続	・バリアフリー化車両の導入(令和2年度は導入見送り)	
	継続	・バリアフリー化車両の導入(令和2年度は導入見送り)	
	継続	・筆談によるコミュニケーションの実施	
J-(2) ユニバーサルデザインタクシー車両の導入推進と利用促進 H29～R元・ユニバーサルデザインタクシー車両の導入 (H29:7台, H30:7台, R元:15台)	継続	・ユニバーサルデザインタクシー車両の導入(10両導入, 2両減車→8両増)	
	継続	・ホームページ等での情報提供による利用促進	
J-(3) 駅舎や乗り継ぎ経路などのバリアフリー化と情報提供	継続	・駅施設や経路の整備状況をホームページ等により情報提供	
	継続	・乗継経路の表示方法について検討	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、高齢者や障がい者などに対する支援を実施した。	達成	高	市 交通政策課 市 健康長寿課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、高齢者に対する支援を実施した。	達成	変更可能性	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施	48,550	継続実施	計画どおり実施し、障がい者に対する支援を実施した。	達成	高	市 障がい福祉課
新規	精神障がい者運賃割引制度の制定		継続実施	計画どおり実施し、障がい者に対する支援を実施した。	達成	高	交 井原鉄道(株) 他事業者も実施
継続	→継続実施	200	継続実施	計画どおり実施し、高齢者や障がい者などに対する支援を実施した。	達成	高	市 障がい福祉課
継続	→継続実施		継続実施	R2年度は実施済み。コロナ影響により、R3年度導入は見送り。車両の老朽に更新が追いついていないため、代替の計画は継続が必要。	一部未達	高	交 下津井電鉄
継続	→継続実施(但し、令和3年度の導入計画は未定)		継続実施	概ね計画どおり実施し、バリアフリー化の推進と情報提供を実施したが、コロナの影響により、R2年度は車両の導入を見送り、R3年度の導入計画は未定。	一部未達	高	交 両備HD(株)
継続	→継続実施(但し、令和3年度の導入計画は未定)		継続実施	概ね計画どおり実施し、バリアフリー化の推進と情報提供を実施したが、コロナの影響により、R2年度は車両の導入を見送り、R3年度の導入計画は未定。	一部未達	高	交 岡山電気軌道(株)
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、バリアフリー化の推進を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、バリアフリー化の推進を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、バリアフリー化の推進と情報提供を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、バリアフリー化の推進と情報提供を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
				計画どおり実施し、バリアフリー化の推進と情報提供を実施した。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
K-(1) 学校などを対象としたモビリティ・マネジメント H29～R元・小学生を対象にした路線バスの乗り方教室を開催 (H29:12校, H30:7校, R元:7校)	継続	・小学生を対象にした路線バスの乗り方教室を開催(コロナの影響により, 鉄道・バス教室動画を制作)	363
	継続	・沿線高校入学者説明会に路線バスのご案内に訪問	
	継続	・沿線中学高校に通学定期販売促進チラシを配布	
	継続	・沿線高校へ出向いて通学定期を販売	
	継続	・先進的なMM施策について情報収集と研究	
K-(2) 事業所などを対象としたモビリティ・マネジメント	継続	・「スマート通勤おかやま」への参加(国)	
	継続	・市職員を対象とした「チャレンジ・エコ通勤」の実施(交通政策課)	
	継続	・利用促進のためのポスター作製と掲示(交通政策課)	
	継続	・沿線施設への停留所時刻表配布	
K-(3) 利用促進キャンペーンの開催	継続	・「くらしき環境フェスティバル」への出展(交通政策課, 公共交通事業者)	
	継続	・季節に応じたイベントバス運行(桜・七夕・ハロウィン・クリスマス)	
	継続	・「両備グループフェア」の開催(隔年開催)	
	新規	・バス利用者を対象にした沿線商業施設クーポン券提供のキャンペーンを実施(2019年度年末年始 MOP 倉敷)	
	継続	・「スルッとKANSAIバスまつり」への参加 →コロナの影響の為不参加(下津井電鉄) →コロナの影響の為不参加(両備ホールディングス)	
K-(4) 「おかやま愛カード」の普及推奨	継続	・カード所持者に対して割引制度の実施	
	継続	・ホームページ等での情報提供	
	継続	・コミュニティタクシー利用時の割引を実施	
	継続	・「おかやま愛カード」の発行	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続	→継続実施(市内の小学校で鉄道・バス教室動画を使用)	693	継続実施	概ね計画どおり実施し、MMを推進したが、コロナの影響により、R2年度以降は、作成した動画により教室を実施。	一部未達	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、学校を対象としたモビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	交 両備HD(株)
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、学校を対象としたモビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	交 下津井電鉄
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、学校を対象としたモビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	交 井原鉄道(株)
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、学校を対象としたモビリティ・マネジメントを実施した。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	企 地域企業 交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、市職員を対象としたモビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	市 交通政策課 他 岡山県・国
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、利用促進に努めた。	達成	高	市 交通政策課 交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	交 両備HD(株) 交 下津井電鉄
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、モビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策/環境政策
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、利用促進に努めた。	達成	高	交 両備HD(株) 交 (株)井笠バスカンパニ
継続	→今後の計画は未定		継続実施	計画どおり実施し、利用促進に努めたが、コロナの影響により、R3年度以降は未定。	一部未達	未定	交 両備HD(株)
継続	→イオンモール倉敷イベント来場者への復路バスチケット提供のキャンペーンを実施(令和3年GW)		継続実施	計画どおり実施し、利用促進に努めた。	達成	未定	交 両備HD(株)
継続	→継続実施(令和3年度不参加:両備ホールディングス)		継続実施	コロナの影響により、R2年度、R3年度開催は中止となった。	一部未達	未定	交 下津井電鉄(株) 交 両備HD(株)
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、モビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、モビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	市 生活安全課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、モビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し、モビリティ・マネジメントを推進した。	達成	高	他 警察

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
K-(5) 利用促進事業への助成	継続	・井原線利用促進活動補助事業への支援（交通政策課）→コロナの影響により中止	245
	継続	・竹のまちフェア開催（地元・交通政策課）→コロナの影響により中止	
	新規	・水島臨海鉄道利用促進活動への支援（交通政策課）	
L-(1) バスロケーションシステム導入	継続	・バスロケーションシステムの運用	
	継続	・車内におけるフリーWiFiの運用	
L-(2) ICカードの利便性のPR	継続	・ちらし，ホームページ等によりICカードの高い利便性を情報提供	
	継続	・ハレカ通学定期券ちらしの配布（倉敷市内 中・高・大学）	
L-(3) ICカード導入と活用の研究	継続	・ICカード導入について研究	
	継続	・交通系ICカード（10カード）の片利用（運用）	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続	→継続実施	245	継続実施	コロナの影響により, R2年度は中止	一部未達	高	 市民/利用者  公共交通事業者  交通政策課
継続	→継続実施	800	継続実施	コロナの影響により, R2年度は中止	一部未達	高	
継続	→継続実施	600	継続実施	計画どおり実施し, 利用促進に努めた。	達成	高	
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, バスロケーションシステムの利用促進に努めた。	達成	高	 両備HD(株)  下津井電鉄(株)  岡山電気軌道(株)  (株)井笠バスカンパニ-
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, バスロケーションシステムの利用促進に努めた。	達成	高	 下津井電鉄(株)
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, ICカードの利用促進に努めた。	達成	完了	 公共交通事業者  交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, ICカードの利用促進に努めた。	達成	高	 下津井電鉄(株)
継続	→継続実施		継続実施	研究は進めてきたが, 費用負担など, 導入に向けては課題が大きい。	一部未達	高	 水島臨海鉄道(株)  交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, ICカードの利用促進に努めた。	達成	完了	 両備HD(株)  下津井電鉄(株)  岡山電気軌道(株)

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
M-(1) 中心市街地における公共交通の利便性向上	継続	・中心市街地での移動ニーズに対応した路線展開の検討	
M-(2) 路線バス運賃上限制度や乗り継ぎ割引	継続	・環境定期券の発行（両備ホールディングス・下津井電鉄・井笠バスカンパニー・岡山電気軌道）	
H29～R元・共通定期券の発行 玉島地区にて両備バス定期による井笠バス共通利用を開始（両備ホールディングス・井笠バスカンパニー）	継続	・遠距離通学者向けの定期運賃一律サービス（下津井電鉄）	
	継続	・記名式ハレカード利用時の乗継割引、誕生日割引（両備ホールディングス・下津井電鉄・岡山電気軌道）	
	継続	・共通定期券の発行	
M-(3) 事業者間連携による企画乗車券	継続	・スーパーホリデーパスの発行（井原鉄道・協賛施設） ・スーパーホリデーパスの販売箇所追加（倉敷、福山、総社）	
H30 ・土休日限定でイオンモール倉敷までの往復割引きつを販売（平成30年12月～平成31年3月）（両ホールディングス株）	継続	・吉備之国くまなくおでかけパスの発行（ＪＲ西日本・井原鉄道・協賛施設）と利用可能路線の拡大（水島臨海鉄道） 期間限定商品→コロナの影響により発売延期	
	継続	・市内を運行する事業者間の企画乗車券の検討 下津井電鉄×水島臨海鉄道 空港リムジン×鉄道との企画きっぷ	
	継続	・デニムＤＥ行っ得切符の発行（ＪＲ西日本・井原鉄道・イオンモール岡山）	
	継続	・両備バス1日フリー乗車券の販売促進（令和2年度未終了） ・ヘルスピア倉敷とのプールセット券を販売（令和2年度はプール営業中止のため未実施）	
	継続	・サマー定期券利用促進（スタンプラリー） ・モニターツアーの開催 →コロナの影響により、サマー定期券を廃止	
M-(4) パーク＆ライド駐車場の利用促進	継続	・定期券購入者を対象としたパーク＆ライド駐車場の提供（水島臨海鉄道） ・ＩＣカード併用鉄道利用者への駅駐車場利用割引を実施（ＪＲ西日本） ・パークアンドライド駐車場の情報提供（井原鉄道）	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続	→ 検討継続		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 公共交通事業者  交通政策課
継続	→ 継続実施		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 公共交通事業者
継続	→ 継続実施		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 公共交通事業者
継続	→ 継続実施		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	変更可能性	 公共交通事業者
継続	→ 継続実施		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 公共交通事業者
継続	→ 継続実施		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 地域企業  井原鉄道(株)
継続	・吉備之国くまなくおでかけパスの発行 期間限定商品→新型コロナウイルス感染症の影響により発行見合せ		継続実施	概ね計画どおり実施し、移動しやすい環境を提供できたが、コロナの影響により、R2年度以降、一部の企画乗車券の発行等を見合わせた。	一部未達	高	 地域企業  JR西日本(株)  井原鉄道(株)  水島臨海鉄道
				計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 地域企業  公共交通事業者
				計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。R2で完了	達成	終了	 地域企業  井原鉄道(株)
新規	・岡山ローカル3線おでかけ切符の発行 (JR西日本・井原鉄道・イオンモール岡山・さんすて岡山・岡山一番街)		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 地域企業  井原鉄道(株)  JR西日本(株)
継続	→ヘルスパイア倉敷夏季プール営業がある場合は、セット券販売を検討		継続実施	概ね計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造について効果があったが、コロナの影響により、R2年度はプールセット券の販売を中止、R3年度はプール営業がある場合は販売を検討	一部未達	未定	 両備HD(株)
継続	→外出自粛を踏まえ、見送りを検討中		継続実施	概ね計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造について効果があったが、コロナの影響により、R2年度はサマー定期券を廃止、R3年度も見送り検討中	一部未達	高	 (株)井笠バスカンパニ
継続	→ 継続実施		継続実施	計画どおり実施し、公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造に努めた。	達成	高	 地域企業  公共交通事業者  交通政策課

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
N-(1) サイクル&ライド自転車駐車場の利用促進	継続	・公共交通マップへ自転車駐車場位置を掲載（交通政策課）	
	継続	・ホームページ等でサイクル&ライド自転車駐車場の情報を提供（交通事業者）	
N-(2) 自転車駐車場を気持ちよく使うことができる環境整備	継続	・駐車場内の美化，整理（道路管理課ほか）	87,348
	継続	・放置自転車の撤去（道路管理課ほか）	2,606
	継続	・停留所隣接自転車駐車場の美化，放置自転車の撤去（地域・交通事業者）	
O-(1) 駅周辺環境の向上	継続	・駅前の美化，植栽管理（真備支所）	
	継続	・駅周辺のあり方について検討	
O-(2) 沿線の魅力についての情報提供	継続	・路線と関連する沿線の魅力の発信方法について検討（交通事業者）	
	継続	・鉄道高架に沿って設置されている「くらしき緑と水のアート回遊」をホームページで紹介（水島支所）	
	継続	・「ピーポー車窓ガイド」の運用（水島支所・水島臨海鉄道）	
	継続	・「りんてつ沿線手帖」による情報提供（倉敷商工会議所）	
P-(1) 「愛される鉄道」への取り組み	継続	・雑列車の運行（水島臨海鉄道） ・七夕列車の運行（水島臨海鉄道） ・ハロウィン列車の運行（水島臨海鉄道） ・クリスマス列車の運行（水島臨海鉄道） ・鉄道の日イベント（水島臨海鉄道） ・水島臨海鉄道50周年記念車両の運行開始（4月1日から）	
H29～30 開業20周年イベントの開催（「井原線。あなたのかなえます」，「車両ラッピング」）		・ギャラリー列車の運行（井原鉄道） ・ゆるきゃらラッピング列車の運行（井原鉄道）	
	継続	・案内放送の多言語化	
	新規	・井原鉄道シンメトリー（左右対称）記念乗車券の発売	
	新規	・大原美術館と連携した「アート列車」の運行	
	新規	・営業開始50周年記念イベントの開催（式典開催、記念グッズ販売、記念マンホール・カード制作、認定商品等）	
P-(2) 「使える鉄道」の情報提供	継続	・乗換時刻表の作成，情報発信（水島臨海鉄道・井原鉄道）	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、自転車等の利用環境の向上に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業
継続 → 検討継続			継続実施	計画どおり実施し、自転車等の利用環境の向上に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続 → 継続実施		68,452	継続実施	計画どおり実施し、自転車等の利用環境の向上に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業
継続 → 継続実施		2,495	継続実施	計画どおり実施し、自転車等の利用環境の向上に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 道路管理課ほか
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、自転車等の利用環境の向上に努めた。	達成	高	
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者
継続 → 継続実施 倉敷駅前バスターミナルのバス待機場の確保(下津井電鉄)			継続実施	計画どおり実施し、鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化に努めた。	達成	高	市 交通政策課ほか
継続 → 運用継続			継続実施	計画どおり実施し、鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化に努めた。	達成	高	市 交通政策課 市 水島支所産業課
継続 → 運用継続			継続実施	計画どおり実施し、鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化に努めた。	達成	高	
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化に努めた。	達成	高	
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、鉄道の更なる認知度の向上が図られ、利用促進に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、鉄道の更なる認知度の向上に努めた。	達成	高	
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、外国人利用者へのサービス向上に努めた。	達成	完了	交 水島臨海鉄道(株)
				計画どおり実施し、鉄道の更なる認知度の向上に努めた。	達成	終了	交 井原鉄道(株)
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、鉄道の更なる認知度の向上に努めた。	達成	高	
				計画どおり実施し、鉄道の更なる認知度の向上が図られ、利用促進に努めた。	達成	終了	交 水島臨海鉄道(株) 市 交通政策課
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し、鉄道の更なる認知度の向上に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
Q-(1) 公共交通マップ・総合時刻表の作成と配布	継続	・市内転入者等への公共交通マップの配布	
H29 ・バスマップ, 時刻表を作成, 配布 (井笠バス)	継続	・時刻表等を市内高校大学へ訪問配布 (27校)	
H29 ~ 30 ・公共交通マップ作成・配布 (A1:20,000部等)		(両備ホールディングス・下津井電鉄)	
R元 ・おもてなし公共交通バスマップの作製・配布 (岡山県バス協会)		・ポスティングの実施(連島地区・倉敷循環線沿線) (両備ホールディングス)	
	継続	・総合時刻表作成を検討 (交通事業者・交通政策課)	
Q-(2) 情報案内板や経路案内の改善・整備	継続	・乗換経路上の案内施設の在り方について検討	
H29 ~ 30 ・バス行先番号化と表示の統一決定 (ナンバリング) 電光方向幕にナンバリングを表示実施 (下津井電鉄)	継続	・ナンバリング利用促進策の検討 時刻板・時刻表へ表記, 国からの助成金検討 (下津井電鉄)	
・バス停留所の標識を更新 (H29:26箇所, H30:26箇所)		2019年5月より停留所時刻表、路線別の配布用時刻表、バスの行き先表示にナンバリングを実施 (両備ホールディングス)	
・停留所名称43ヶ所変更 平成30年4月実施		・バス停と観光施設を結び付け観光路線としてホームページで紹介	
	継続	・車輛の案内放送多言語化工事 (水島臨海鉄道)	795
	継続	・バス停留所の標識を更新 (2633箇所) 倉敷駅南口地下案内板更新	
Q-(3) 公共交通の認知度向上	継続	・各種イベント時の事前の広報 (井原線感謝デー)	
	継続	・市ホームページを活用した情報提供	
Q-(4) 案内所のサービス強化	継続	・英語対応可能なスタッフの常駐 (観光コンベンションビューロー)	
	継続	・案内拠点として必要な事項の整理、検討 (交通事業者)	
	継続	・井原鉄道企画券 (スーパーホリデーバス) の販売 (倉敷駅前観光案内所)	
R-(1) 乗務員等の接遇向上	継続	・乗務員を対象とした接遇研修の実施	
	継続	・「エコカード」による、接遇に関する利用者アンケートの実施及び、フィードバック (タクシー協会)	
R-(2) 利用者のマナー啓発	継続	・車内掲示ポスター等によるマナー啓発	
	継続	【再掲】・バス教室の実施 (コロナの影響により、鉄道・バス教室動画を制作)	
S-(1) 観光タクシー乗務員の育成	継続	【再掲】 ・乗務員を対象とした接遇研修の実施	
S-(2) 観光タクシーのモデルコース	継続	・市内周遊モデルコースの設定・運用	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続	→配布継続		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	市 交通政策課
継続	→配布継続		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	
継続			継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続			継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	バス停時刻表にナンバリングを反映 (下津井電鉄) ナンバリング表示を継続実施(両備 ホールディングス)		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	
継続	天城線にて沿線の見どころなど紹介		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。今後も継続して検	達成	高	交 下津井電鉄(株)
				計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	完了	交 水島臨海鉄道(株)
継続	→継続実施(箇所数未定) 倉敷駅南口地下案内板更新		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	交 バス協会
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課/観光課
継続			継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	
継続	→検討継続		継続実施	計画どおり実施し, わかりやすい情報の提供に努めた。	達成	高	
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, 接遇やマナーの向上に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, 接遇やマナーの向上に努めた。	達成	高	
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, 接遇やマナーの向上に努めた。	達成	高	民 市民/利用者 企 地域企業
継続	→継続実施(市内の小学校で鉄 道・バス教室動画を使用)		継続実施	概ね計画どおり実施し, モビリティ・マネ ジメント等の推進に努めたが, コロナの 影響により, R2年度以降は, 作成し た動画により鉄道・バス教室を実施。	一部 未達	高	交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, タクシーを活用した 観光客の二次交通の充実に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施	計画どおり実施し, タクシーを活用した 観光客の二次交通の充実に努めた。	達成	高	交 公共交通事業者

事業内容	実 績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
T-(1) 観光客向けの情報提供	継続	・観光地とタイアップした「お得なプラン」の設定と情報発信（下津井電鉄） JR西日本×ジーンズのまち児島 バス一日乗車券の販売開始（2019.10.1～） ぐるりんバス、ジーンズのまち児島 バス一日乗車券 →継続実施 JR西日本「setowa」、ジョルダン モバイルチケット導入	
T-(2) 市民向けの情報提供		・イベントや会議開催時に公共交通を使った来場方法を記載及び他部署への周知（交通政策課）	

青:重要度 高, 緑:重要度 中, 白:掲載しない↓

計 画							実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	実施状況及び見込み	達成度	次期計画	
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し, 観光モビリティ・マネジメント等の推進に努めた。	達成	高	 公共交通事業者  交通政策課
継続 → 継続実施			継続実施	計画どおり実施し, 観光モビリティ・マネジメント等の推進に努めた。	達成	高	 公共交通事業者  交通政策課